

## &lt;支部・準支部だより&gt;

## JDSの仲間たち

No.18 富山支部  
(つなGO)

## ● あゆみ

2014年(平成26年)10月1日、富山県内でのダウン症関連の拠点として富山支部(つなGO)が活動を開始。以前から、ダウン症のある子をもつ家族でつくる複数のグループはありましたが、活動地域や対象とする子どもの年齢が限られていました。そして、全国の情報を得るには、個別にJDSの会員になる必要がありました。

県内の関係者を結ぶとともにJDS本部との橋渡しになる組織をつくろうと、父親で医師の中山哲規会長が、長年JDSの理事を務めた上原公子支部長に連絡。会長が運営する施設の一角に事務局を置き、親仲間にも声を掛けスタッフとして参加してもらうことで、支部設立が実現しました。

「つなGO」という愛称には、みんなでつながって一緒に進んでいこうという想いを込めています。「ゆるやかな連携」を基本にして、今あるつながりをより一層発展させていくことを目指しています。

家族数は、発足当初は42家族でしたが、丸3年が経ち56家族に増えました。顧問としては、医療・療育・教育・福祉の専門家10名の皆様にご協力をいただいています。

## ● 代表より



会長：  
中山 哲規

2016年11月開催の第21回全国巡回セミナーでは、大変お世話になりました。充実した内容で開催することができました。その後、多くの要望があり、菅野敦先生にはシリーズとしてお願いしていて、すでに来年6月の講演会が決まっています。

まだまだ“ひよっこ”の当支部ですが、大小様々なイベントができるのも、事務局スタッフ12名が、明るく、仲良く、元氣よく活動している賜物。様々な分野の皆様にご力を貸していただき、一歩ずつ、着実に、長く歩んでいきたいと思っています。



支部長：  
上原 公子

## ● 活動

「相談」と「啓発」を大きな二本柱として活動しています。

「相談」については、当初は月に一度の相談会を開いていましたが、現在は、年2～3回の特別相談会(乳幼児、就学、青年・成人等)を開催。相談は随時受け付けていて、必要な場合は専門家へつないでいます。

「啓発」については、3月21日「世界ダウン症の日」近辺に、県内3カ所のショッピングセンターでチラシやリーフレット、グッズ等を配布。本人・家族・ボランティアの方々とダウン症への理解を訴えています。

また、昨年度からは、富山大学、富山福祉短期大学と連携した活動も行っています。ダウン症についての講義をはじめ、富山大学では出生前検査・診断について意見交換等。また、富山福祉短期大学では、「富山コミュニティ論」(後期の授業)として、テーマを決めて本人たちと学生さんが学び合っています。今年度のテーマは「防災」です。

## &lt;そのほかの行事&gt;

- \*総会 & 総会後の講演会
- \*月に一度のハンディキャップヨガ教室
- \*交流会を兼ねた見学会や食事会

- ◆ 会長：中山 哲規     ◆ 支部長：上原 公子
- ◆ 支部会員：56家族と特別会員11名
- ◆ ご本人の年齢：1歳～35歳
- ◆ 対象地域：富山県内(隣県含む)
- ◆ 連絡先：jds-tym@pl.coralnet.or.jp
- [ブログ] [http://blog.livedoor.jp/jds\\_toyama](http://blog.livedoor.jp/jds_toyama)



9月30日(土)に開催した支部設立3周年記念パーティー